

あなたとともに考える「くにたち」のこれから

市民と市長の対話の会 実施報告書（第6回）

1. テーマ

北地域のまちづくり ほか

2. 日時

令和8年2月4日（水） 午後6時～

3. 場所

くにたち北市民プラザ 第1・2会議室

4. 参加者数

10名

5. 内容

市長より挨拶を行い、「北地域のまちづくり等」の報告をした後、市民と市長の対話を行った。

6. 対話の内容（主な意見等）

（1）北地域の好きなところについて

- 四小が集団登校で、地域がつながりやすい点が北地域のよい点である。
- 静かで安全な住環境である点が好きだ。
- 国立駅・立川駅の双方にアクセスできて便利だ。
- 北地域は、鉄道総研が近い。

- 北市民プラザは便利だ。
- 国立駅周辺にある駐輪場は、屋根があってよい。

(2) 北地域の課題について

- 北地域の静かで安全な住環境を変えかねない都道延伸は、課題である。
- スーパー等が少なく不便だ。
- 北地域のくによこの便数が少なく、移動手段は、自転車が主だ。
- 北地域は、高齢化で世代交代が進んでいないと思う。
- 北市民プラザに子どもが集まっている。中高生向けの居場所が家・学校以外にあるとよい。
- 北第一公園には、スマートフォンの充電施設があるが、壊れている。市役所に連絡して直ったが、また壊れている状態で、壊れやすいようだ。今後どうするのか市役所に尋ねたが、その後放置されており、もったいないと感じる。
- 北第一公園の時計台の下に花が植えられなくなった。

(3) 北地域に関する要望・提案について

- 四小に支援級が必要か、現役世代の意見を聞いてみたい。
- しょうがいしゃ施設は、市の北側になく、南側ばかりだ。しょうがい当事者が描いた絵をカレンダーにする事業所があるが、そのような事業をやるなら北でやってほしい。
- 中央線高架下は、コンテナのような動産物件をうまく活用できるのではないか。

- 人件費が他自治体と比べ高くなっているのか。北プラの開館日を減らすと見たが、北プラ図書館の職員と相互応援体制を組めばよい。
- 図書館で本を借りたら予約者が多く、最大で2年待ちだ。読みたい本がなかなか借りられない。そもそも北プラ図書館に行っても読みたい本がない。中央図書館と書籍のローテーションができないのか。
- 北プラや北福祉館を改修して、トレーニング機器を置くことはできないか。
- 北の都営アパートの空き部屋を借りて、改築し、市民が利用できるようにすればよい。

(4) 自然環境や農地の保全について

- 稲作体験をした。泉の田んぼを残すことができたらいいと思う。
- 公園と緑地帯しか緑が残っていない。
- どのような土地でもよいので、市が買って、子どもの遊び場を整備してほしい。
子どもたちには、アザミを触ったという経験をしてほしい。
- 大学通りの桜は、市が責任を持って手入れしてほしい。

(5) 道路・交通について

- 都市計画道路3・3・30号線(3・3・15号線)が、羽衣町では進んでいないが、曙町では進んでいる。28メートルの通過道路で、生活道路ではない。太い道路の横断は困難で、道路の近くに暮らす人にはメリットが少ないと思う。加えて、3・4・5号線も進むと、地域が道路で分断され、緑の多い住環境が失われる危険があ

- る。南武線の立体交差と都市計画道路3・3・15号線とをなぜ一体で行わなければならないのか。市民にとってプラスになるか考えて、都に意見を上げてほしい。
- 道路築造は、便利になると思う。造るなら今しかない。現役世代が高齢化したときに、どのような移動手段を望むのかも考えてほしい。
 - 大学通りの駐車が気になる。
 - 富士見通りにあるローソン前の信号が見えづらい。信号や街路灯の問題に取り組んでほしい。
 - 国立の町中を歩いていて、防災上の道路の問題や建築基準法に適合しないと思われる建物があり、不安になった。

(6) 市政全般に係る意見等

- 国保税の値上げ計画がある。国保税が上がると、生活費を切り詰めなければならない。そうならないように東京都・国に働きかけてほしい。
- 大型犬を連れてくる人がいる。どこかにドッグランを作れないか。
- 若い方が住みやすく、チャレンジしやすい環境を作ってほしい。
- ふちゅPayはよく使うが、くにPayを使う機会がほとんどない。使われるように、もっと考えてよい。
- パブコメを行っていた行財政改革プランでは、財政調整基金の深刻な状況を強調している。国立駅周辺には大きなお金を使う計画だが、大丈夫なのか。また、国保税が1.5～2倍になると聞いてびっくりした。ちぐはぐな気がしている。

- 総合体育館は、公共施設で税が投入されている。広く市民が安く利用できるが、北地域の市民はどれほど利用しているのか疑問である。例えば、夫婦2人で週1回、くにっこで通ったら、グリーンパスを使っても年間で5万円以上かかってしまう。令和6（2024）年度の利用者数が約2万8,000人で、以降、徐々に利用者数を増加させる目標のようだが、近辺に住む人だけが利用できるような状況だとしたら、それはどうなのか。
- 総合体育館には、これからも税を投入するのか。公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の財産目録を見ると、JA東京みどり国立支店に約3億1,200万円預けているが、その年間利息は約8万円である。それで運用と言えるのか疑問である。



▲対話の様子